

1. 第一にすべきは全体の福利である。個人の回復は OA の一体性にかかっている。
2. われわれのグループの目的のための最終的**権威**はただ一つ、グループの良心の中に自分を現される、愛なる神である。われわれのリーダーは奉仕を任された僕にすぎず、彼らは決して支配しない。
3. OA のメンバーであるために要求される唯一のことは、食事の問題をどうにかしたいという願望だけである。
4. 各グループは完全に自律的でなければならない。ただし、他のグループまたは OA 全体に影響をおよぼす事柄においてはこの限りではない。
5. 各グループの主要目的は唯一つ、まだ苦しんでいる**摂食障害者**にメッセージを運ぶことである。
6. OA グループはいかなる**関係**ある施設にも、外部の企業に**対**しても、保証や融資や OA の名前を貸すことをしてはならない。**金銭**や**所有権**や**名声**の問題が、われわれを大事な問題からそれさせる恐れがあるからである。
7. すべての OA グループは外部からの寄付を**辞**退して、自立しなければならない。
8. OA はどこまでも非職業的でなければならない。しかし、サービスセンターのようなところでは**専従**の職員をおくことができる。
9. OA そのものは決して組織化されてはならない。しかしサービスの**機関**または**委員会**をつくることはできる。これらの**機関**は、グループやメンバーからの付託に直接**応**えるものである。
10. OA は外部の問題には意見を持たない。したがって、OA の名は公の論争でひき合いにだされるべきではない。
11. われわれの**広報**活動は**宣伝**により促進することよりも、ひきつける魅力に基づく。新聞、電波、映画の分野で、われわれはいつも個人名を伏せるべきである。
12. 無名であることは、われわれの**伝統**全体の**霊**的基礎である。それは各個人よりも OA の原理が優先すべきことを、いつも、われわれに思い起こさせるものである。